

やっと涼しくなってきましたが、いかがお過ごしですか？9月の月例情報市場のご報告をいたします。**イベントの秋です。情報をお気軽にお寄せください！**

- 活動報告
- イベント情報
- 物品情報
- 後記

□活動報告

日時 2012年9月19日（水） 16時～17時

場所 ふれあい福祉センター 和室

参加者

- ・込山副会長（写真左）
- ・音楽ボランティア ふるさとの風 代表 武井さん（写真右）
- ・長野市ボランティアセンター ボランティアコーディネーター 山崎さん
- ・支援ネット 事務局



ふるさとの風 武井 今月 33 回です。

込山 すごいですね！ 今月は、まだ 19 日だというのに！

武井 6 月には、福島に行きました。ボランティアいったついでに、旅行した感じです。

「高原列車はいく」ってご存知ですか？ 作曲者の古関裕而さんは福島出身です。また、作詞の丘灯至夫さんも、ご存じですか？

込山 はい。会ったことはありませんが！（笑）

武井 ははは。美人で有名な小野小町の小野町の出身です。小さいとき、父に連れられて、安達太良村のふもとに、療養にっていたのを思い出してつくったそうです。列車は緑の村磐梯山のふもと。猪苗代湖畔に展示されています。そこで突然音楽をやったところ、ハーモニカを持って行っている人がいて盛り上がりました。

介護施設は大勢だから2日間にわけて活動してきました。トータル3箇所です。

長野から行ったので、喜んでくれました。よかったです。

込山 素晴らしいですね！

武井 表彰もしてもらいました。

10/28 篠ノ井の恐竜公園で、事務所…駐車場のある広場で12時25分から1時間ハーモニカの伴奏で歌います。5回目です。自治会主催でハイキングやっていて、終わって食事して、歌って帰ってもらうんです。歩くのは申込が必要ですが、歌うのは参加OKです。

込山 それだけ活躍されれば、いろんな賞状ももらったでしょうね。

武井 これまで、3枚いただきました。

支援ネット それだけ回数が多いということは、ボランティアに行かれたときは、1日2回されるのですか？

武井 そうです。大体1時間ずつ。家族の通院介助もあるので、時間のある日にはまとめて動いています。

込山 ボランティアセンターのかわらばんの記者をしているので、そういう視点で話をすると…それがもう生きがいですか？

武井 生きがいというか、性格ですね。自分のことより、人のこと。いてもたってもいれなくなるんです。

込山 今は、奥様と2人でやっているそうですが、後継者は？

武井 若い人ほしいですが、なかなか…。紙芝居を見たい人が一杯いるんです。ものすごいリアルなので。学校、児童館など、、子ども達は、一回見ちゃうととりこになる。

支援ネット 紙芝居はどうやって作っているんですか？

武井 A3大にコピーして、自分で書いています。

込山 後継者の講座をボラセンでやりましょう！

武井 塩崎の公民館いったとき、朗読の人は上手だなあと思ったんです。

込山 きっと需要もありますよね。今は奥様とフル回転。少しずつラクしてほしいし、皆で楽しんでほしい。培った「技」ですから、是非皆に教えていただきたいです。誰でもできるように。

武井 同じところもいいが、いろんなところに行ってやりたいんですよね。

10/21 はふれあいまつりの日ですが、私たちは福島県会津若松に行きます

仲間が茨城県の野口雨情さんのところに行きたいと言うんです。中野市出身の中山晋平さんと組んだ人で、赤いくつなどが有名です。泊まる場所は福島にしようと思っています。

支援ネット 継続は、自己資金ですか？

武井 基本はそうですね。公的なところでは、3人で行って5000円上限で出ることがあります。燃料代が高いので助かります。昼食もいただける場合があります、ありがたいです。

込山 いいものを見せてもらったら、お金を払いたいというのは心情。利用者の方が、払いたいという場合もあるのでは？

武井 職員の人から、だめだと言われるみたいです。

込山 人を喜ばせるのは、難しいのにね！

武井 そうですね。(とてもよい笑顔！)5年も200回以上続いています。去年は330回。空いているスケジュールがあれば、新しいところが入ってきます。

込山 いかがでしょう。今年か来年、月例情報市場に来てくれる方の発表会やりますか？一芸。皆がどんなことやっているか、と。

武井 昨日も施設のお年寄りに言われたんだけど、「こんなに歌えたの初めて！」って。年寄りのところにいくときは、低いキー。子どものところは、高いキー。私たちは、**鼻歌で歌えるキー**にします。「一緒に歌いましょう！」というなら、**そこまで気を遣わないとだめなんです**。最初の音は出ても、続かなくなる。

支援ネット お客様本位とか利用者本位ってよく聞く言葉ですが、きっと本来はそういうことなんですね。相手に合わせる、という。

武井 これは腹話術の人形です。(写真を見ながら)けんちゃん、みよちゃんです。この子たちのいうことは、皆よくきくんですよ。

込山 楽しいなあ！…どうですか?!情報市場の中で楽しみごとをかんがえながら、2ヶ月に一度くらいやっていくというのは。今まで月例情報市場って人の話をきく場だったけど、我々が楽しむ場、としてもいいと思うんですが!だって、楽しくないと人は集まってこないですから!

支援ネット いいですね!10年目の変化、というのも、ありですね!

さて、市の体験学習の機会に、支援ネットの会員さんでもある「アトリエCoCo」さんに行ってきました。何人かの企業の方々と、知的に障がいのある皆さんとともにクリーニング作業しました。

エンパワーメント・アプローチ、という言葉も、初めて知りました。「その人の可能性を引き出す」という意味だそうです。とても優しく、楽しい時間に、参加した人々は癒されて帰ってきました。「仕事って、楽しいものなんですね」。仕事は辛いもの、と思っている企業人たちには、目からうろこでした。

込山 伝説の卓球台は見てきましたか?

支援ネット え!?卓球にも作業にも使われているという噂の卓球台は、ここにあったんですね!

込山 支援ネットを通じて提供された物品がその後どのように活用されているか。追いかけてみるのも、楽しそうですね!

さて、私はボランティアセンターの運営委員なんです。何か希望とかありますか?

支援ネット 運営委員の皆さんの様子も、かわらばんに載っていると楽しそうですね。

武井 ボラセンのほうには、ボランティアやってほしい、という情報はありますか?

込山 いっぱいはないかもしれません。意識がまだボランティアにいていない。
困ったことがあって、相談してくる人がいるんだと思います。
だから、スタッフのボランティア・コーディネーターの人は、いろんなことに悩んでいる。
本当は、登録している人で集まって、会議みたいなのをやればいいんだけど。
そして、やっていることをアピールできれば。

武井 **リアル**、ということをもう少し…。

善光寺白馬電鉄は、最初は、鬼無里電鉄と言っていたらしい。わずか7年あまりの鉄道だったが、残っている古い橋げたの写真を撮ってお年寄りにお見せすると、話題になります。福祉施設に行けば、1人か2人は乗ったことある人もいます。三才から白馬という計画は、ダムで断念されたそうです。

上田、諏訪や佐久、松代などにもそういう鉄道があって。そうやって会場の皆さんと対話でやるから、面白い話になっちゃう。軽井沢から草津まで通っていたかぶとむしという汽車とか。

紙芝居をつくるのも、現地次第。その場所に行きます。夕鶴つくるときは、山形の夕鶴の里に行ってきました。取材するんです。**だから、リアル。だから、対話になるんです。**

込山 非常に大切なことですね。あったことを、紙芝居を通して、**世代を超えて伝える**って大切。

武井 …あと、こういう物語で、と、いちばん最後にまた説明するんです。

幸せはどこにあるか、結局、自分の心の中にある、と。遠くにあるものではなくて。

夕鶴の場合は、結局約束したことを忘れて、部屋を開けてしまったわけですね。約束を破ると、こういうことになる、と。

紙芝居を見て、楽しいときは楽しく。悲しいときは泣いてもらいたいんです。実際、話に入り込んで、涙を流される方もいます。

若返りの水を飲んで赤ん坊になったおばあちゃんの話も、引き込まれていく様子がわかります。ダイナミックです。昔から、人は不老不死を求めて旅をしましたが、今日の物語は、一生懸命やっていたら、それが若いということになるんだ、と話します。じいさんはその水を飲み若くなって、ばあさんに飲ませる。と、ばあさんは自分で欲張っちゃった。

そういうことが、分かり合える。説明をしないと、ただの物語で終わってしまうんです。

込山 深いですね…。

武井 だから、いろんなところに行ってあげたい。250箇所は行っています。

込山 お話が聞けるのが、とても楽しみです。忘年会っぽく。2月の月例は、新年会。

支援ネット 時には、月例お祭り市場、ですね！

込山 いいですねえ！人がいなくても、充実した月例になりました。

ありがとうございました。

ロイベント情報

●ふるさとの風 音楽ボランティア 10月25日 12時25分～恐竜公園で。

●長野青年会議所

【市民連携フォーラム】～市民がつくる「ながの祇園祭」の新たなカタチ～

■日時：9月27日（木） 18：30～20：45（受付18：00～）

■場所：ホテル国際21 3階「千歳」＊ドレスコードはありません。

<http://njc2012shiminrenkei.naganoblog.jp/>

●長野市ボランティアセンター

◎今月の「ボランティアかわらばん」

<http://www.vnetnagano.or.jp/kawaraban/kawarabanpdf/kawaraban359.pdf>

◎第31回 ふれあいまつり ボランティア大募集

http://www.vnetnagano.or.jp/fureai-fes/fureai_2012v_1.pdf

1 活動日時 平成24年10月21日（日）8時30分～16時00分

※当日は午前8時30分よりホワイトリング正面入口付近の本部で受付後、各イベントブースに移動していただきます。

※10月6日（土）午前9時より、ふれあい福祉センターにて、看板やポップづくりの事前準備会を開催。こちらも、ぜひご参加ください。

2 活動場所 ホワイトリング（長野市真島町真島）

3 活動内容 各イベント（内面参照）運営のお手伝い

4 対象 ふれあいまつりに興味がある方ならどなたでも

5 条件 ●昼食（軽食）はご用意します。

●交通費は自己負担でお願いします。（長野駅より無料シャトルバス運行）

●動きやすい服装でご参加ください。

6 募集人数 100人

7 締切 平成24年10月1日（月）

→今年はアビリンピックと同時開催なので、南のほう、ホワイトリングです。今まで来たことのない方々にもいらしていただきたいです。ボランティアを募集しています。市民みんなで、手づくりのお祭り。運営側でかかわってほしいです。

◎コーディネート力を身につける講座・実践編

あなたもわたしも地域の助っ人！

助け上手・助けられ上手な地域づくりを学ぶ講座

http://www.vnetnagano.or.jp/co2012_10.pdf

●講師：片桐 美登 さん

（社福）駒ヶ根市社会福祉協議会事務局次長

- 日 時：10月10日(水)13時30分～16時30分
- 会 場：長野市ふれあい福祉センター4F第2・3会議室
- 参加費：500円
- 申込み：10月5日(金)までに下記までお申込みください

問合せ・申込先

社会福祉法人 長野市社会福祉協議会・ボランティアセンター TEL：026-227-3707

→マップをつくりながら話していくと、「いつもこの時間に通るよ」とか、見守りの仕方にしても、「私はこういうことならできるよ」という情報交換ができると思います。小さなことから、その人なりに地域参加できるわけです。困ったなあというときに、どういうふうに地域の人を巻き込んでいくか。地域の人たちの関係づくりのきっかけに、マップづくりという手法が役立てばと思います。コーディネート力講座の一環ですので、民生委員さんなどをはじめとした皆さんにご参加いただきたいです。

●長野市災害ボランティア委員会

◎「伝える」プロジェクト 展示パネル貸出し。「震災を忘れない」ために。共有したいことがあります。貸出し希望者は、一週間前までに申し込みを。

http://www38.atpages.jp/kawasakigpz2002/panel_info.pdf

◎長野元気プロジェクト

募金箱やチラシを置いていただける場所を募集中!

企業・団体の皆様には、スタッフの皆さんの休憩室への募金箱設置や、お給料の端数募金など、「できる範囲」でのご協力をお待ちしています。

大槌で頑張っている方に大槌の花屋さんに注文した花を送っています。現在は大槌役場1か所ですが、今後は資金が集まり具合によって、警察・消防・病院などにも送りたいと考えています。 <http://genkiproject2012.naganoblog.jp/>

→元気ニュースも発行しています。ブログをご覧ください。



上記2つのプロジェクトの問い合わせ先

〒380-0813 長野市緑町 1714-5 (長野市ボランティアセンター内)

長野市災害ボランティア委員会事務局

E-mail dvcnagano@gmail.com FAX 026-224-1513

※上記以外にも、様々なプロジェクトが同時進行しています。

<http://dvcnagano.naganoblog.jp/>

●中村文昭 講演会

平成 24 年 10 月 16 日（火）

ホテルブエナビスタ（松本市） 開場 17:50 18:20～20:30

大人 1,000 円（中学生以上に限ります。全席自由）

主催 日本損害保険代理業協会上信越ブロック

●教育フォーラム 親の背中って何？

第 1 部講演会 演題「子ども達にとっての親の背中とは」

西村徹先生（豊岡市立府中小学校）

<http://www2.nkansai.ne.jp/users/tohru/index.htm>

第 2 部研究討議「父親、母親の役割」

岡崎勝先生（名古屋市桃山小学校）

<http://www.mb.ccnw.ne.jp/m-okaza/index2.html>

大沢正先生（前山梨県総合教育センター相談支援部）

●日時 平成 24 年 10 月 14 日(日)開場 13:15 開演 13:45

●場所 長野市勤労者女性会館しなのき

●参加料 前売り大人 500 円（税込）当日 800 円

●主催 長野おやじの会 つながり隊

後援 長野市教育委員会

□物品情報

★探しています

- ・小型洗濯機・小型冷蔵庫（ボランティアセンターさん）

※単身者用。新品か、新品に近いもの。生活に困窮された方へ、寄付をお願いします

- ・パンフレット台（支援ネット）

ふれあいまつりに出展するにあたり、写真のような A4 サイズのパンフレット台が不要になりましたらお譲りください。傷・汚れがあってもよいので、よろしくをお願いします。



中古のパンフレット・カタログ台、ご寄付を募集中です

★集めています 長野市ボランティアセンター 書き損じハガキ、古切手

★寄付します 座卓・清水焼等（会員さんには送付済）

会員限定期間を過ぎましたら、ホームページで公開します。

★報告 前回は提供いただきましたポットは、コーディネートプラザながのさんでお使いいただくことになりました。

後記

●今回は、武井さんと込山さんの「取材力」に、とにかく脱帽の一時間でした。

リアルというのは、どういうことか。**真実**というのは、どういうことか。

今回のお話は、とても深く、参考になったと思います。

そして、寄り添うということ。その人の立場にたつということ。楽しむ、とは？

お客様本位とは？ 満足感とは？

成果とは？ 戦略とは？

と考えさせられました。

依頼があれば駆けつけてしまう、というふるさとの風さんに＜戦術＞とか＜戦略＞という言葉はないように思われました。しかしながらお年寄りの笑顔とか満足感はかけがえのない「成果」です。その成果が次の依頼を生む。まさに、スパイラルアップです。

その持続性ある活動、温かな空気に包まれた活動には、企業も、学ぶべき点がたくさんあるのではないのでしょうか。

仕事は辛いのではない、ボランティアはいい加減なのではないのです。

仕事も楽しい！ ボランティアもまじめ！

そんな感じが「自分自身の人生」「いきいきとした人生」をつくっていくのかな、と思いますが、皆さんはどう思われますか？

●さて、12月19日の情報市場では、ふるさとの風さんの演奏を体験できることになりました。忘年会の気分で、是非、お出かけください！

●10年目となり、物品情報のその後を追いかけてようという話題もありましたが、ささえあい応援金で活動していただいた皆さんのその後の様子も、是非お聞かせいただけたらと思っています。理事会でアンケートを検討しています。該当団体の皆様には、事務局からご連絡させていただくことがあります。よろしくお願いいたします。

●イベント情報や月例市場で発表したい！など、お気軽にお寄せください。

ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク

メール info★nagano-shien.net（★をアットマークに変えて送ってください）

FAX 026-224-1513

（な）